

北陸地方の概要

1 地域の動向と課題

「四季の美しさ」と「災害のおそれ」を
あわせ持つ北陸

- 世界でも有数の豪雪地帯
- 脊梁山脈、急流河川、脆弱な地質
→ 多い自然災害

(自然災害による1人当たり被災額 北陸 24,100円 全国 8,600円)

我が国の経済に貢献

しかし、停滞する北陸経済

- オーストラリアに匹敵する北陸経済
- 大都市圏への食料・エネルギーの供給基地
- 我が国を支える小さな世界企業の存在
- 豊かな自然・文化・伝統を生かした多くの
観光・レクリエーション地域
- スキー客など観光入込客の停滞、アジアとの
産業競争の激化

(平成2年) (平成7年) (平成10年)

(県外観光入込客数 1,420万人 → 1,550万人 → 1,500万人)

国際化・広域化する北陸の地域経済・生活

- 幹線交通体系の代替性、バックアップ機能の強化
(大都市圏〔仙台、東京、名古屋、大阪〕との高規格幹線道路ネットワーク構成)
- 港湾・空港等の整備の進展等により、
諸外国との国際交流が活発化
(北東アジア 韓国、中国、極東ロシアなど、東南アジアなど)

生活環境の充実が求められる北陸の地域社会

- 全国平均を上回る高齢化の進行
(高齢化率 北陸 19.9% 全国 16.7%)
- 過疎化している中山間地
(過疎地域人口比率 北陸 7.6% 全国 6.3%)

2 北陸地域の目指すべき方向

外との交流、内なる連携 に向けて

安全 安心な地域づくり

- 4 自然災害に強く、事故のない地域の実現

- 水害・土砂災害から地域の安全を守る根幹的治水事業の推進

広域的な連携と交流による活力ある地域づくり

- 4 「交流人口」拡大による地域の活性化、拠点都市の連携による
地域の一体化と活力の創出

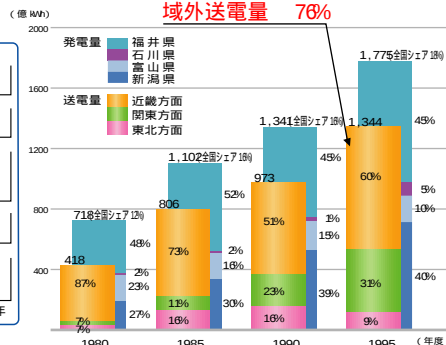
- 4 大都市圏に近接(扇の要)、北東アジアに対面といった地勢的
優位性を生かした国内外の地域との交流促進

- 首都圏と北陸を直結する北陸新幹線整備の着実な推進
- 大都市圏との一体化を支援する高規格幹線道路の整備、北陸の
拠点都市の機能強化と交流・連携を支援する地域高規格道路の整備
- 日本海国際交流のゲートウェイである港湾・空港の機能強化

【北陸の発電量・送電量】

【北陸の小さな世界企業】

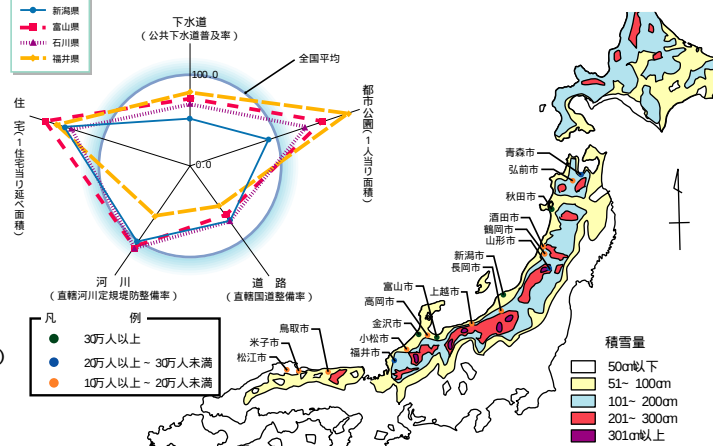
- 洋食器(新潟県燕市)
→ シェア日本一 国内の約 90%
 - 漆器(福井県)
→ シェア日本一 国内の約 80%
 - メガネフレーム(福井県鯖江市)
→ シェア日本一 国内の約 90%
→ 世界シェアでは約 20%
 - アルミ(素材・加工品)(富山県)
→ シェア日本一 国内の約 14%
 - CRTディスプレイ
(石川県松任市・N社 19.6インチ製品の場合)
→ シェア世界一・世界の約 96%
- データはいずれも2000年



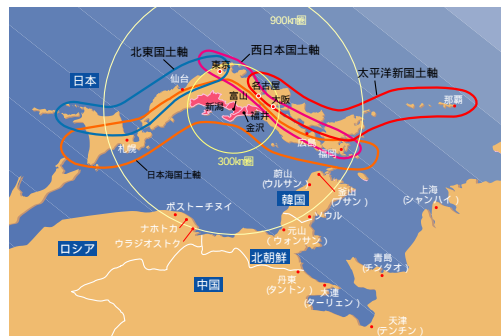
【北陸の主な社会資本の状況】



【世界有数の豪雪地帯】



【環日本海諸都市と日本海国土軸】



美しさと歴史・文化の香りが
する暮らしやすい地域づくり

- 4 「雪」の利活用も含めた、全ての
人々が快適に過ごすことのできる
生活環境の実現

- 4 豊かで美しい歴史・伝統や文化な
どの北陸の魅力を生かしたくらし
やすい地域づくり

- 豊かな自然を生かした国営越後丘
陵公園の整備
(H14春 全国「みどりの愛護」のつどい)
- 魅力ある拠点都市の形成を図る市
街地の再開発